

NEWS RELEASE

2016.2.25

今回で9回目の開催

「ポーラ ミュージアム アネックス展 2016 — 映像と動勢 —」

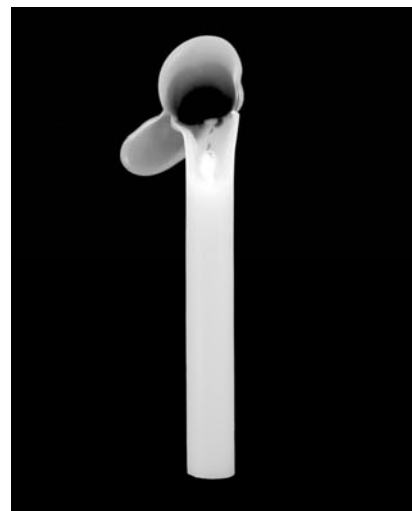
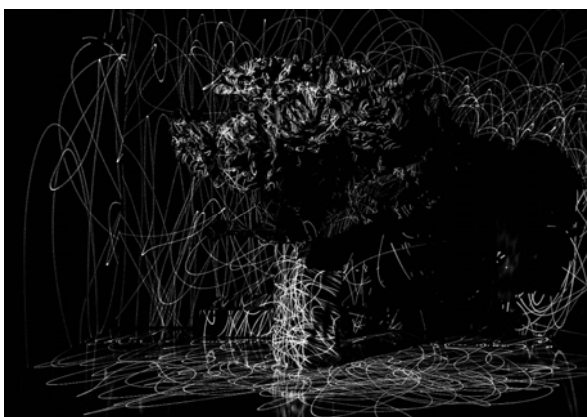
若手アーティスト 4 名によるグループ展 3 月 25 日(金)より

ポーラ ミュージアム アネックス(中央区銀座 1 丁目)では、2016 年 3 月 25 日(金)から 4 月 17 日(日)まで、「ポーラ ミュージアム アネックス展 2016 — 映像と動勢 —」を開催します。

本展では過去に公益財団法人ポーラ美術振興財団での若手芸術家の在外研修に対する助成(※)において、採択されたアーティストの作品を展示します。ポーラ ミュージアム アネックスでの発表をきっかけに、今後の活動に活かしていただきたいという趣旨から開始し、今回で 9 回目となります。

後期となる今回は『映像と動勢』をテーマに美術評論家の木島俊介氏 監修のもと、4 名の若手アーティストによる映像を中心とした旬な作品をご紹介します。なお、会期中の 4 月 4 日(月)に会場ではレセプションと合わせて今年度の若手芸術家の在外研修に対する助成対象者の授賞式を開催します。

※若手芸術家の在外研修に対する助成とは公益財団法人ポーラ美術振興財団が毎年実施している活動のひとつで 35 歳以下のアーティストを対象に海外での研修を援助し日本の芸術分野の専門性を高めていこうとするものです。



左上：山本 聖子 「frames of emptiness」 2011 年 物件広告の間取り図、ラミネート、鏡、アクリル、木、ミクストメディア

右上：秋元 珠江 「1ミクロン(ゆり)」 2008 年 インクジェットプリント、アクリルマウント

左下：土屋 紳一 「Light」 2014 年 インクジェットプリント、紙

右下：平川 祐樹 「A candle」 2012 年 映像インスタレーション

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

Ⅱ 展覧会概要 Ⅱ

展覧会名：ポーラ ミュージアム アネックス展 2016 - 映像と動勢 -

会 期：2016年3月25日(金) - 4月17日(日)【23日間】*休館日：4月4日(月)

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ

東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

JR 有楽町駅 京橋口改札口徒歩5分

主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)

入 場 料：無料

Ⅱ 監修者コメント Ⅱ

ポーラ ミュージアム アネックス展は、公益財団法人ポーラ美術振興財団が、1996年以来実施している「若手芸術家の在外研修助成」を受けられた方々の研修成果をご披露いただく展覧会として、2010年、ポーラ銀座ビル新築を好機として、同ビルの3階に設けられたギャラリーにおいて第1回展が開催され、以来、毎年の開催を経て、今回で第9回展を迎える。今回の展覧会には「映像と動勢」という題が与えられているが、深い意味はない。現代アートにおいては、映像技術やその効果をメディアとする創作活動が盛んであるし、重要な成果を上げてきているので、今回はそのフィールドに焦点を当てて、4人のアーティストにご参加いただいた。芸術活動のリアリティーが「在ること」と「行うこと」にあるとすれば、映像的イメージの魅力は「行うこと」にあると思う。もとより、出品作は個々のアーティストに全面的に委ねられているので、設定されている主題にもとづいて制作されているということではなく、新たな創意が期待されているのである。

Ⅱ 監修者プロフィール Ⅱ

木島 俊介：ポーラ美術館館長。1939年、鳥取県生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、美学・美術史専攻。フィレンツェ大学、ニューヨーク大学大学院、同美術史研究所に学ぶ。群馬県立近代美術館館長および群馬県立館林美術館館長、共立女子大学教授等を務め、現在、同大学名誉教授、東急文化村ザ・ミュージアム プロデューサー。主要著書に、『美しき時祷書の世界』（中央公論社）、『アメリカ現代美術の25人』（集英社）、『女たちが変えたピカソ』（中公文庫）、『名画が愛した女たち 画家とモデルの物語』（集英社）、『クリムトとウィーン』（六耀社）、翻訳書に、『ヨーロッパの装飾芸術 全3巻』（中央公論新社）などがある。

Ⅱ 公益財団法人ポーラ美術振興財団の活動概要 Ⅱ

公益財団法人ポーラ美術振興財団では、美術分野などの若手芸術家及び美術の専門職員に対する助成活動を行っています。主に美術分野における研究活動テーマを広く一般から募集し、有識者で構成される選考委員会によって採択・助成し、日本文化の向上、発展に寄与することを目的に以下の活動を行っています。

【参考資料：平成27年度助成採択内容】

	(採択数)	(助成金額)
(1)若手芸術家の在外研修に対する助成	18件	5,403万円
(2)美術館職員の調査研究に対する助成	12件	2,080万円
(3)美術に関する国際交流の助成	12件	2,091万円

|| 作家プロフィール ||

土屋 紳一

Shinichi TUCHIYA

1972年 神奈川県横浜市生まれ

1994-1998年 東京造形大学 デザイン科 造形計画専攻 メディア計画コース

1998-2000年 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー ラボ科卒業

2001-2008年 ドイツ デュッセルドルフ芸術大学 写真専攻卒業

2003年 文化庁新進芸術家海外研修制度派遣研修員 (ドイツ)

2005年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員 (ドイツ)

2006年 Prof. Thomas Ruff からマイスターシューラーの称号取得

【主な展覧会・出版物】

2005年 「サイトグラフィックス」 川崎市民ミュージアム

2008年 「写真ゲーム」 川崎市民ミュージアム

個展 Obirst Gingold Galerie (ドイツ、エッセン)

2010年 「Nomans Land」 旧フランス大使館

2012年 「2:46 and thereafter」 Pepco's Edison Place Gallery
(アメリカ、ワシントンD.C.)

2015年 個展 Düsseldorf Photo weekend (ドイツ、デュッセルドルフ)

「幻燈スライドの博物誌: プロジェクション・メディアの考古学」 青弓社

2016年 「クリテリオム 92」 水戸芸術館

個展 Galerie Obrist (ドイツ、エッセン)



「SCAN」

2008年

インクジェットプリント、紙

山本 聖子

Seiko YAMAMOTO

1981年 京都府生まれ、大阪府在住

2004年 大阪芸術大学芸術学部美術学科立体コース卒業

2006年 京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻修了

2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員 (メキシコ)

【主な展覧会】

2010年 「吃驚」 国際芸術センター青森 (青森)

2011年 「現代美術の展望『VOCA展 2011』-新しい平面の作家たち-」 上野の森美術館

「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2011」 六甲高山植物園 (兵庫)

「Tokyo Midtown Award 2011」 東京ミッドタウン内

2012年 「六本木アートナイト・東京ミッドタウンプログラム ストリートミュージアム」
(東京ミッドタウン内/東京)

「日常の冒険－現代の若手作家たち－」 札幌大通駅地下ギャラリー500m美術館 (北海道)

「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2012」 六甲高山植物園 (兵庫)

2013年 「ボーダーレスのゆくえ」 なんばパークス内ホール (大阪)

2014年 「レジデンスプログラム成果発表展」 DORDTYART (オランダ、ドルトレヒト)

2015年 個展「白い暴力」 1M1A-DEAR (メキシコ、メキシコシティ)

個展「白い暴力と極彩色の闇」 GalleryPARC (京都)

URL : <http://www.seikoyamamoto.net/>



「極彩色の闇」

2014年

記録映像、世界地図、ろうそく、額縁

平川 祐樹

Youki Hirakawa

1983年 愛知県生まれ

2008年 名古屋学芸大学大学院メディア造形研究科修了

2011年 アカデミー・シュロスソリチュード奨学生（ドイツ、シュトゥットガルト）

2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員（ドイツ、ベルリン）

2014年 クンストラーハウス・ベタニエン滞在作家（ドイツ、ベルリン）

2015年 文化庁新進芸術家海外研修制度派遣研修員（ドイツ、ベルリン）

【主な展覧会】

2012年 「Now&After」 モスクワ近代美術館（ロシア、モスクワ）

2013年 「あいちトリエンナーレ」（愛知）

個展「眠りにつくまで」 みのかも文化の森（岐阜）

「Stranger」 国立台湾美術館（台湾、台中）

2014年 「札幌国際芸術祭」（札幌）

個展 In Remembrance of Disappearance /MOT/ARTS（台湾・台北）

2015年 個展「Close Your Eyes」 クンストラーハウス・ベタニエン（ドイツ、ベルリン）

個展「Same Places, Different Phases」 クンストラフトヴェルケ（ドイツ、ライプツィヒ）

URL: <http://www.youkihirakawa.jp>



「Burning a second」
2016年
映像インスタレーション

秋元 珠江

Tamae AKIMOTO

1971年 埼玉県生まれ

1995年 多摩美術大学美術学部彫刻科諸材料専攻卒業

2003年 第6回岡本太郎記念現代芸術大賞 特別賞

2006年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(中国)

2006年 中央美術学院大学院 実験芸術工作室聴講生(中国、北京)

【主な展覧会】

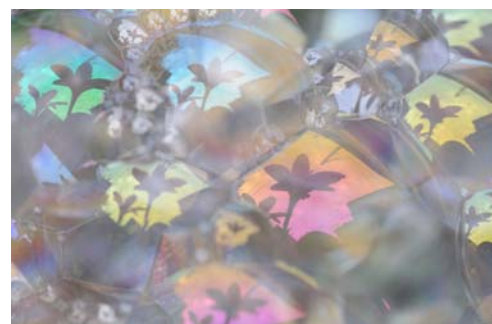
2001年 「求心力/遠心力」 うらわ美術館(埼玉)

2007年 「Open Door! Artist In Residence In Beijing」 紅門画廊/Red Gate Gallery(中国、北京)

2008年 「エントロピー」 北京東京芸術工程/BTAP(中国、北京)

2010年 個展「うつろいのなかに」 フレアとくしま(徳島)

2011年 「New Vision Saitama 4」 埼玉県立近代美術館(埼玉)



「1ミクロン(花)」
2008年
インクジェットプリント、アクリルマウント